

# 農業



## 農業の概要

日本海に沿って南北に細長く、楡の歯状に農地が分布している留萌地域では、南北で異なる自然条件を生かし、稲作・畑作・野菜・果樹・酪農などバラエティーに富んだ農業が営まれています。

耕種作物は、主に遠別町以南で生産され、うるち米については、道内有数の良食味米産地として高く評価されています。

畑作物では、超硬質小麦ルルロツソが日本では小平町・留萌市でのみ生産されており、ルルロツソを使用した生パスタが北のハイグレード食品に認定されるなど、高い評価を受けています。

果樹は、増毛町を中心に果樹産地の北限として、りんご、さくらんぼ、なし、ぶどうなど多様な栽培が行われており、道内有数の果樹産地となっています。

酪農は、天塩町・遠別町を中心に広大な土地基盤を活かした道内でも有数の草地型酪農が展開されています。

管内の農業産出額は、近年、1,800千万円前後で推移しており、約6割を畜産が占めています。

水稻の作付面積は、減少傾向にあり、令和3年は3,900ha、生産量は22,300tとなっています。

畑作物の作付面積は、増加傾向にあり、小麦、大豆の順で多くなっています。

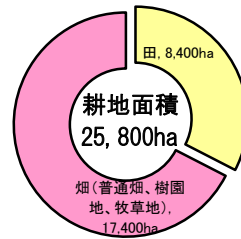
野菜の作付面積は、減少傾向にある一方、果樹の作付面積は、横ばいで推移しています。

生乳生産量は、近年、横ばいで推移しており、令和3年は64,129tとなっています。

農業経営体数（平成27年までは農家戸数）は、減少傾向にあり、令和2年は664経営体となっています。

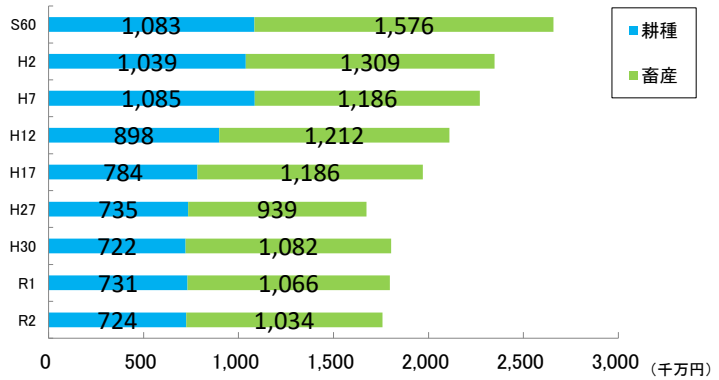
また、65歳以上の農業就業者の割合は、増加傾向にあり、令和2年は43%を占めています。

## 耕地面積（R3）



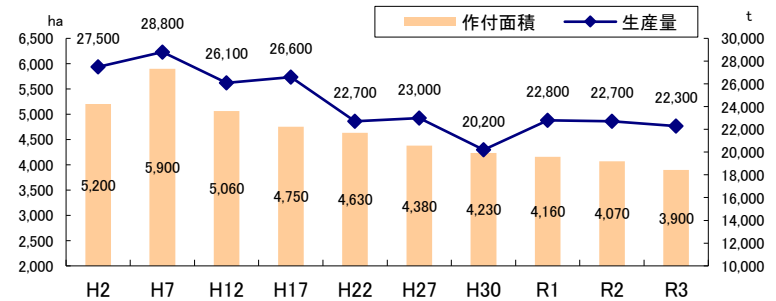
(資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」)

## 農業産出額



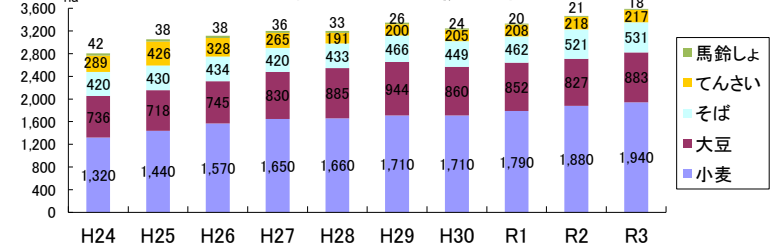
(資料：農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」(S60~H17年は幌延町を含む))

## 水稻の作付面積と生産量の推移



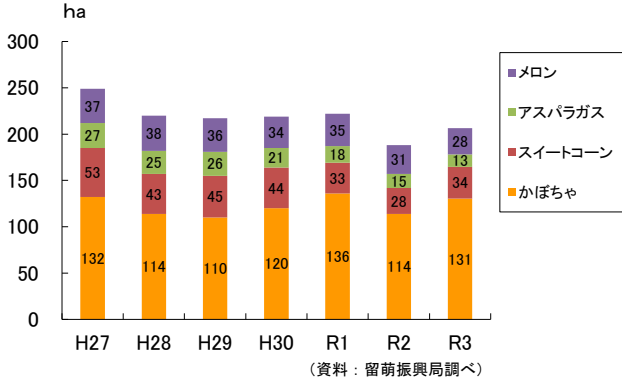
(資料：農林水産省「作物統計」(H2~H17年は幌延町を含む))

## 主要畑作物の作付面積の推移

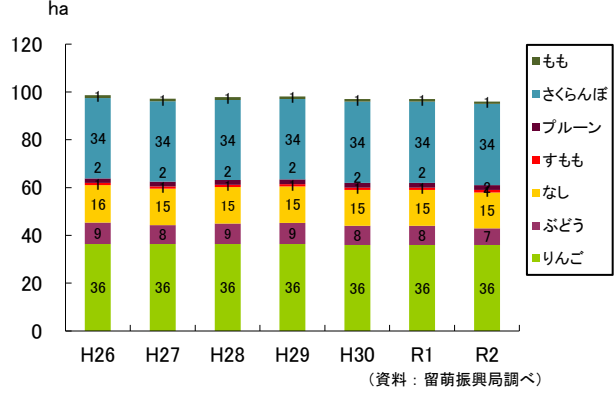


(資料：農林水産省「作物統計」)

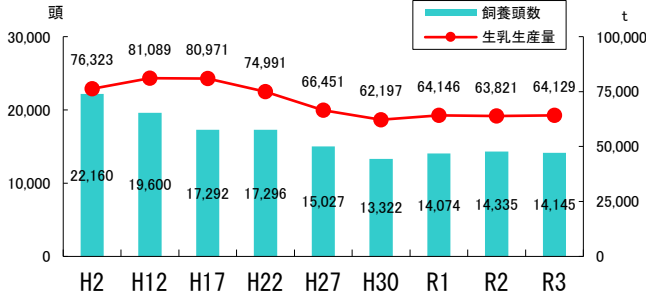
### 主要野菜作付面積の推移



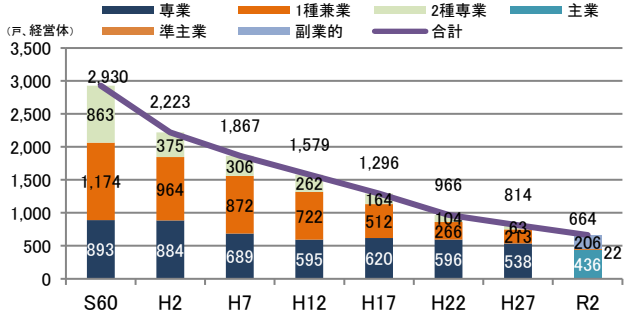
### 主要果樹作付面積の推移



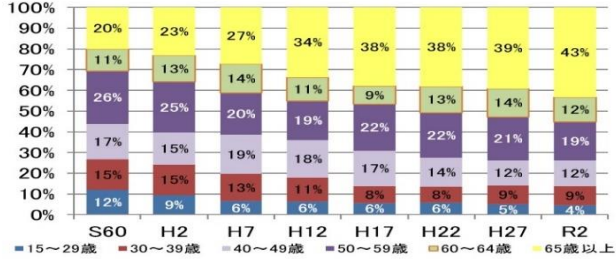
### 乳牛の飼養頭数と生乳生産量の推移



### 農家戸数・農業経営体数(個人経営体)の推移



### 農業就業人口年齢構成比の推移



### ○ お米の美味しさの秘密

お米のおいしさを決める要因の一つが「タンパク質」の含有量で、タンパク質が少ないお米(6.8%以下=低タンパク米)は吸水が良いため、炊き上がりがふっくらとしたおいしいご飯になります。

留萌管内のお米は、低タンパク米の比率が全道平均より高い傾向にあるため、良食味米として評価されています。

### 留萌管内の主な農畜産物

北部	天塩町	乳用牛	肉用牛	めん羊						
中部	遠別町	もち米	かぼちゃ	アスパラガス	メロン	ピーマン	トマト	ほうれん草	乳用牛	
	初山別村	もち米	かぼちゃ	アスパラガス	トマト	スイートコーン	乳用牛			
	羽幌町	うるち米	アスパラガス	かぼちゃ	トマト	メロン	長芋	ねぎ	めん羊	乳用牛
南部	苦前町	うるち米	かぼちゃ	メロン	スイートコーン	トマト	さいいんげん	乳用牛		
	小平町	うるち米	小麦	かぼちゃ	スイートコーン	メロン	アスパラガス	ピーマン	いち	肉用牛
	留萌市	うるち米	小麦	かぼちゃ	トマト	ピーマン	きゅうり	肉用牛		
	増毛町	うるち米	なし	ぶどう	いちご	りんご	さくらんぼ	肉用牛		